

地域のコーディネーターとして

ボランティアと共に取り組む活動

思いを共有する仲間が集まり動き出す市民活動。その活動において、ボランティアの存在はとても大きいです。ボランティア活動は個人の自発的な意思にもとづく活動ですが、その機会を得るのは簡単ではないと言われます。さまざまなボランティア登録の仕組みはありますが、マッチングはなかなか難しいようで、「きっかけがない」という声を聞きます。そうした状況のなか夢コミネットは、地域の人たちの社会参加やボランティア活動のきっかけづくりを重視し、積極的にコーディネートしています。

例えば、関心のあるテーマでミニ学習会を開いたり、連携後をイメージしてグループや施設を紹介したりするなど、地域でより活躍できるようつないでいます。同時に、自団体の事業にも多くのボランティアに力を発揮してもらっています。

地域連携まちづくり事業

多様な組織の連合体での取り組みは、それぞれの組織に事情やルールがあるため調整事項が多いと感じます。それでも、「子どもたちのために」「地域で顔見知りの関係を築くために」など、取り組みの目的を共有し、いつでもその原点に返ることで、事業にブレが生じないように気をつけています。特に学校に関しては、“学校とのつながりが強い人”に活動を共感してもらえることが重要と考えます。学校や地域の行事とぶつからないよう、スケジュールの調整は必須です！

親子ふれあいフェスタへの参画



町内会をはじめ子ども会や青少年指導員、スポーツ推進委員など、地域ぐるみで運営するイベントに参画。小学校校庭に紙トンボ工作と輪投げのブースを出し、地域の子もたちとふれあいました。改めてふれあうことの大切さを実感した一日となりました。当日は夢コミスタッフとボランティアも参加し、地域での連携を深める機会にもなりました。

ボランティア活動に参加して

前日まで「子どもと何を話せばいいかな？」と悩んでいましたが、分かったことは、彼らは目まぐるしくも新鮮な世界を生きていて、私個人がどんな大人かはほとんど目に入っていない(笑)。しかし、たしかに大人たちは、子どもたちが安全に楽しめる環境を守っているし、子どもたちも見守られていることは感じ取っている。そういった雰囲気の中で安心感を味わってもらうことが大切なのだろう。

商店街イベント



地域の人からペットの写真を集め、商店街に展示する「ペット写真大集合」のイベントをコーディネートしました。広報をはじめ展示まで一連の作業をボランティアと共に行い、商店街に地域の人たちが関心を持ち、足を運んでもらえるよう取り組みました。

ボランティア活動に参加して

地元で子どもたちもお世話になっているので、できることがあれば手伝いたいと日ごろから思っています。夢コミと知り合い、イベントの手伝いができることを知り、休日や夜間の作業に参加しています。地域の人が喜んでくれるのは嬉しいし、自分も役に立ててうれしい。子どもたちにとっては大人の知り合いが増えたこともよかったと思います。

ボランティア活動 4つの原則

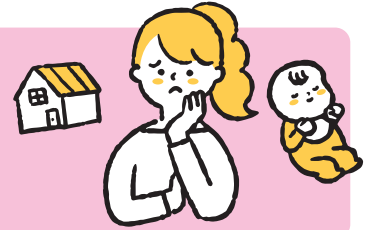
- 自分からすすんで行動する **自主性** 見返りを求めない
- 無償性
- ともに支え合い、学び合う **社会性** よりよい社会を創り出す
- 先駆性



ボランティアは一方的なもの・自己満足で終わるものではなく、関わる取り組みや人々など、双方の共感により協働のものとなる。

親と子のつどいの広場 夢ひろば・夢たま

コロナ禍は子育て中の親子にも、大きな影響を与えました。特に母親からは、コロナ前とは違った悩みが聞こえてきます。例えば、夫が在宅勤務で昼食の用意が苦痛、テレワークで自宅にいるため、子連れでどこかに「避難」しなければならない…。もっともっと身近な地域に広場があるといいのに！



●Zoom交流会

夢ひろばと夢たまの親子がオンラインで交流しています。交互に自己紹介をしたり、一緒に手遊びをしたり。歌って踊るエビカニクスで盛り上がります！会員はどちらの広場も利用可能です。



●保育士さんと遊ぼう

広場に保育士さんを招き、手遊びやバルーンで思いきり遊びました。また、離乳食やイヤイヤ期の対応などの相談もできて、ママも大満足でした。



●夢ひろばOB会 in 新杉田公園

広場の先輩親子と現役親子が集うOB会。先輩ママが季節ごとに企画・招集をかけてくれます。懐かしい顔ぶれと成長した子どもたち。「大きくなったね！」「がんばってるね」と笑顔の再会です。先輩ママが広場のボランティアを希望してくれました。研修を経て活動をスタートします。



子ども食堂「みんなのテーブル」

今期はコロナ禍の影響で、テーブルを囲みカレーライスを食べることが難しく、おにぎりや飲み物を渡す回が増えています。少しでも交流ができれば…、その思いから、ゲームやガラポンなどを行い言葉を交わすことにより、地域に顔見知りの関係を築きます。こうして、子どもたちが安心して立ち寄ることのできる場となりました。また、困窮家庭を対象とした食品の配分会も2か月に1度、実施。NPOが運営する食堂・食支援なので、エリアの制約を設けず、誰でも参加できる場として開いています。



●Happy ハロウィン♪

かわいい衣装をしてお菓子をもらいました。夢ひろばはビル内をパレード。夢たまは商店街の会長や、地域のボランティアが衣装で登場し、サポートしてくれました！



●手形アート「トナカイ」

我が子の足形でトナカイのカードを作成しました。「手形アート」プログラムは、子どもの成長記念にもなると大好評です。



ボランティア活動に参加して

- 広場の利用者でした。自分が利用していたときに、してもらってうれしかったこと、助かったこと等を思い出しながら、利用者さんに接していきたいと思っています。だれ一人取り残さない社会を目指して、私のできることを日々考えながら活動していきたい！
- 親子と楽しく遊ぶこととそのお手伝いをしています。お母さんの癒しの場でもあるので、お母さん同士での交流中は特に、子どもの安全に気をつけてサポートできるようにしています。さまざまな「個人」と「個人」を繋ぐ場であり続けてほしいと思います。
- スタッフの紹介で参加しています。利用者さんが温かく協力的で、ボランティアに入るととても楽しくホッとします。困ったときに助け合える社会がもっと広がるといいな。

交流の機会を絶やしたくない！

ボランティア活動に参加して

町内会の役員を担当しているので、地域の状況には関心があります。ボランティアとして食支援準備のほか、配布日も参加して利用される方と少しお話しをしています。これからも地域の人に必要な情報を届けられるよう、回覧板や掲示板など、広報の協力をお願いします。



地域活動につながる機会をつくる

サービスBは行政・地域ケアプラザ・町内会と連携し、社会参加に重点を置いた地域の介護予防・地域福祉の向上のための取り組みです。今後ますます高齢化率が高まる中、地域福祉の担い手としてのシニアの役割は重要になるでしょう。年齢に関わらず、誰でも自分らしく輝ける居場所が必要です。

プログラムの中でも体操・ヨガ・太極拳は地元のボランティアに講師を依頼し、地域の人々が気軽に利用できるようにしています。また、参加者も主体的に場に関わることができるよう、受付や準備・片付けなど、わかりやすい仕組みをつくり、参加型の事業をめざしています。

講師としてボランティア活動に参加して

ゆったり健康体操 平居 愛子さん

持続するために…という視点で考えています。新しいものが入ってきて、高齢者体操指導員の養成講座の資料を読み返したり、勉強してきたことに立ち返ったりしながら、それを励みに自分流の活動を意識しています。

みんなと会うことが自分の元気の素。今日も元気に会えたね！また次も元気で会おうね！



チェアヨガ 林 悦子さん

コロナ禍で「ふれあう」ということが難しいなど制約がある中、いかに物理的にも身体的にも精神的にもヨガの効果を上げたら良いかと模索しています。「ふれあい」の精神的な効果はとても大きいので、少しでも補完できるよう意識し活動しています。ネットワークを通じて、「場所・人・時間」を結んでもらうことにより、この活動ができているということに感謝しています。



呼吸を意識して太極拳 Mさん

太極拳というより、気功(呼吸や姿勢を重視)という角度からレッスンをするように工夫しています。気功により、リラックスしてもらえたら。場所もとらず、自宅でも簡単にできるので、ぜひ長く続けてほしいと願っています。

これからも楽しく活動する中で仲間を増やし、ずっとつながっていきたいです。



●いそご地域づくり塾2021

「地域で何かやりたい」「自分の力を地域で役立てたい」、そんな思いの人が一歩踏み出すための連続講座に、今年度も磯子区役所・磯子区社会福祉協議会・夢コミネットの協働事業として取り組みました。

テーマは仲間づくり。活動に一歩踏み出すためには仲間が必要です。講座で出会い、同じ時間を共有するなかで、互いを応援し合える関係を築きました。



●活動を応援！シトラスリボンプロジェクト

近隣の滝頭小学校の協働本部が中心となりすすめている「シトラスリボンプロジェクト」。これはコロナ禍での差別偏見をなくす取り組みとして愛媛県からはじまったプロジェクトです。デザインされている三つの輪は学校・地域・家庭を表し、「ただいま、おかえりって言いあえるまち」をめざしています。

活動を応援するため、まずは私たちが目的やリボンの作り方を学びました。今後は広場を利用する乳幼児親子や、シニア世代の集まりを通じて、地域へ伝えていきます。



●人権教育 小学校に出前授業に行きました

12月の人権週間に小学校3校で「感覚のちがいをテーマとする「いそごキャラバン出前授業」を実施しました(東汲沢小学校、磯子小学校、洋光台第一小学校)。
コロナ禍のため3校とも体育館の舞台から、マスクを着け、マイクを使用しての発信でしたが、3年生2クラス、3年生～6年生、4年生の約500名の児童が参加。



ところどころに、「どんな感じがする?」「なぜだろう?」「と考える時間を取り、児童にも発言してもらい、参加型で進めていきました。どの学年もとても関心

を持って参加してくれて、活発な発言もあり有意義な時間となりました。敏感な子どもたちの反応をしっかり受け止めながら、今後の啓発活動に生かしていきます。

児童のふりかえりより

- ・人によって感覚が違うんだということを学びました。私と感覚が違う人もいっぱいいるかもしれないので、いろいろと気を付けていきたい。
- ・少しさわただけでも「いたい」と感じる人がいると分かりました。これからはいろいろ工夫したいと思います。
- ・牛乳がすきなのに、いつもと同じ牛乳じゃないと飲めない人がいるということ。小さいことでもみんな少しずつちがうんだなと思いました。
- ・私は自分が思ったことを言うのがこわいので、だけど、みんなちがってみんないい!ので、これからはちょっとずつ、尝试してみようかな?
- ・どうしてみんな感覚が違うのか?不思議に思いました。

●よこはま社会教育士ネットワーク交流会

社会教育に携わる者同士の“学びのコミュニティ”の場として交流会を開催しています。社会教育士または社会教育士をめざす人が集い、実践を語りあうことで、学習支援者のコミュニティをめざします。

第7回 よこはま社会教育士ネットワーク交流会

日時:2022年2月18日(金) 18:30~20:00

会場:夢ひろば

(磯子区中原4-26-27-204
京急杉田駅徒歩1分)

会費:500円

問合せ・申込は右下記載のEmail



●Y-SDGsで【上位】Superior を取得

SDGs未来都市の実現及びSDGs達成に向けて貢献する事業者として、夢コミネットは2021年横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”で【上位】Superior (スーパーリア)を取得しました。これは、環境、社会、ガバナンス、地域の全評価項目を高いレベルで取り組む事業者に与えられます。これからも活動を通じて、身近なSDGsを伝えていきます。

横浜市SDGs認証制度



(横浜市SDGs認証制度 / 横浜市)は持続可能な開発目標(SDGs)を実現しています。

会員募集! 誰もが夢をかなえられる社会を目指して

夢コミネットは、会員の皆さんに支えられて運営しています
ぜひ会員として「地域での仲間づくり」活動を応援してください

- ◆ 正会員 年会費 6,000円
会の目的に賛同し、運営に積極的に参加する個人、議決権有、会報誌・メールマガジンの送付、主催講座の割引
- ◆ 準会員 年会費 2,000円
会の目的に賛同し、会の提供するサービスや講座等に参加する個人
会報誌・メールマガジンの送付
- ◆ 賛助会員 年会費 5,000円(1口以上)
会の目的に賛同し、運営を財政的にサポートする個人または団体の
会報誌の送付

〈入会方法〉

ご入会は会費を下記にお振込みくださいますようお願いいたします。

- 郵便振替 00290-6-94824 夢コミネット
- 銀行振込 横浜銀行 磯子支店 普通 1323239 夢コミネット
- ★ ふるさと納税「よこはま夢ファンド」で夢コミネットに寄付が可能です。

編集後記

今号を作成するにあたり、ボランティアさんからきっかけや活動への思いを伺いました。きっかけの多くはスタッフからの声掛けでしたが、「母がやっているのだから妻から聞いて」という声もありました。夢コミの活動を家族や周囲の人が共感してくれて、輪が広がっていくことはとてもうれしいです。
寅年、笑顔あふれる一年になりますように!

夢コミ通信 ぱぴ vol.39
発行:2022年1月1日
NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク
〒235-0036
横浜市磯子区中原4-26-27-204
TEL&FAX: 045-342-7879
Email: info@yumecomini.net
URL: https://www.yumecomini.net/